

## § 5-2. 情報通信工学科 / Dept. of Information and Communication Engineering

### 1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

#### ■教育研究上の目的

今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。

#### ■ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

共通コンピテンシー (能力・資質)		定義	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー (編成方針)	
DP1	A	幅広い教養	リベラルアーツの基礎を理解し、多面的に考える能力を示すことができる。 2. 技術が社会に与える影響や効果、および技術者としての責任について深く考える能力を示すことができる。	基本概念や理論、技術の社会的影響や技術者の責任を考える能力を身につける科目を配置する。	
	B	専門知識・技能	1. 情報工学、通信工学、およびコンピュータやネットワークの基礎知識を示すことができる。 2. 学習した知識を実際の技術と関連づけて理解することができる。	情報通信工学に関する深い専門性と多面的な思考力を身につける科目を配置する。	
DP2	C	ライフデザイン力	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	与えられた制約条件の下で問題を設定し、解決するための技術を身につける科目を配置する。	
	D	メタ認知・実現力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	自己の適性がどの分野に合致するかを見極めると共に、問題解決のための計画と実行能力を身につける科目を配置する。	
DP3	E	グローバルマインド	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	人々と協調しながら自己を伸ばすことを自発的に行う能力を身につける科目を配置する。	
	F	未来構想力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	世の中の変化を見据えながら、問題解決に必要な最新の技術や方法の調査から改善策を提示する構想力を身につける科目を配置する。	
DP4	G	デジタル力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	1. 数学および物理学の基礎知識を基に自然現象などを数理現象としてとらえることができる。 2. 情報源となるデータを目的に合わせて収集し、分析し、活用することができる。	情報・通信工学の基礎となる数学や物理学を取り扱う科目を配置する。
	H	発信力	自らの考えを適切に伝えることができる力	1. 日本語や英語の文章を読んで内容を正しく理解することができる。 2. 自分の考えを適切に文書や口頭で説明でき、そのために有用なプレゼンテーション能力を身につけることができる。	専門的内容に関する説明や討論を円滑に進めるための論理的コミュニケーション能力を身につけるために、実験科目や卒業研究などの科目を配置する。

## ■カリキュラム・ポリシー（実施方針）

### 【学修方法】

1	知識の修得と能動的な学習態度の涵養のために、理解度確認のための演習や課題レポート等を取り入れる。また、アクティブ・ラーニング型の科目では、討論・発表・ふり返り等を取り入れる。
2	目指す将来のキャリアに基づく自己の課題や目標を考え、自己調整学習の習慣化を図るため、学習ポートフォリオを活用した日常的な学習記録の蓄積と、学修成果の振り返りを行う制度を正課内外で運用する。
3	大学での学びと社会とのつながりを知る機会を取り入れるとともに、多様な価値観を持つ人々と協働して課題解決を行うグループワークを実施する。
4	学修活動全般において、数理的なものを見方を身に付け、情報・通信工学の専門知識を修得し、情報を的確に整理・分析する機会や、適切なデジタルツールを用いて自らの考えを発信する機会を確保する。

### 【学修成果の評価】

1	各授業科目の学修内容、修得する知識・能力、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバス等により学生に周知し、それに則した適切な成績評価を行う。
2	ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況については、全学的な学生調査や卒業研究、卒業論文等の成果物によって評価する。

## ■学修領域（教育分野）

- ①通信技術
- ②情報・ネットワーク技術